

令和2年度 自己評価結果公表

社会福祉法人若竹会
幼保連携型認定こども園あそびの森あきわ

1. 本園の教育目標

すこやかでたくましくすなおな子ども

- ・たくましくすくすく育つ健康な子ども
- ・創造性と感性豊かな子ども
- ・思いやりがあり、みんなで仲よく遊べる子ども
- ・自分のことは自分でできる子ども
- ・あいさつができ、ルールを守れる子ども

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

◆行き届いた環境の中で情緒の安定を図り知・情・意・徳・体の調和のとれた全人教育をめざし人間形成をする。

◆「とことん遊ぶ」と「自分でできる」を保証することで、主体的で、対話的で、深い学びにつなげていく。

★保育環境スケールを用いて考える保育へ

★デザイン・マップと実践・マップを用いた保育内容・環境の充実

あそびの目標：とことん遊ぶ

◎各々の年齢の発達に合わせた遊び・遊び方 ◎集中して遊ぶ環境づくり

生活の目標：自分でできる

◎言葉かけ ◎心待ち

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

| 評価項目 | 取り組み状況 |
|-------------------------------|--|
| 保育理念 保護者支援 組織性の理解 | 認定こども園教育・保育要領や法的根拠などについて日々学ぼうとしている。 |
| | 自分の働いているこども園の理念や目標を意識して保育している。 |
| | 養護と教育の一体性を意識しながら計画を立て、幼児教育・保育に取り組んでいる。 |
| | こども園以外の機関との連携を心掛けている。 |
| | 子どもの姿について、保護者と喜びを共有している。 |
| 困っているのは保護者自身であることを理解して支援している。 | |

| | |
|-------------------------------|--|
| | 自分から職員や保護者に対して笑顔であいさつするように心がけている。 |
| | 誰かがやらなくてはいけない大変な仕事を、進んで引き受けている。 |
| 子どもの姿を捉えた準備 | 新しい保育の内容や方法などの情報を集め、取り入れている。 |
| | 子どもの発達の特長や過程、連続性について学ぼうとしている。 |
| | 子どもが安全、快適に過ごせる空間を整えている。 |
| | 子どもの興味・関心に合わせて、環境構成を行っている。 |
| | 一人ひとりの子どもの姿をイメージして教材などの準備をしている。 |
| | 絵本などの児童文化財について、しっかりと準備をしている。 |
| | 子どもの心情や意欲を考えて、遊びの共有や継続の工夫をしている。 |
| | 日々の保育の中で、一人ひとりの育ちに合わせて、デザインマップやエマージェントを作成している。 |
| 意識的な実践 | 日々、自分に課題を持って保育に取り組んでいる。 |
| | 子どもの姿に合わせて、遊びが継続するようにデザインしている。 |
| | 毎日、一人ひとりと挨拶を交わし、視診をしている。 |
| | 子どもに対し、指示や命令、依頼の言葉よりも誘いかける言葉を多くしている。 |
| | 子どもに対し、指示や命令、依頼の言葉よりも誘いかける言葉を多くしている。 |
| | 一人ひとりの心の動きを考えながら、言動するように心がけている。 |
| | 自然環境を感じられる工夫をしている。 |
| | 基本的な生活習慣については、一人ひとりの育ちに留意して取り組んでいる。 |
| 遊びを通してどのような経験、育ちをして欲しいか考えている。 | |
| 客観的な振り返り | 一日の保育を振り返り、自分の言動を省察するように努めている。 |
| | 保育のよかったところ、悪かったところを記録として残している。 |
| | 他者が見ても理解しやすいように記録している。 |
| | 子ども一人ひとりの生活・活動を振り返り、保育のねらいと照らし合わせている。 |
| | 保育の中で気付いた自分自身の課題は、次の保育から改善するように努めている。 |
| | 子どもの姿を振り返り、翌日の保育をデザインしている。 |
| | 謙虚な気持ちで、他者からの保育に関する意見を聞くことができている。 |
| | 尊敬の気持ちを持って、他者の保育に対する自分の思いを伝えている。 |

項目別の集計

| 評価項目 | 取組み状況 | 8月 | | 12月 | | 3月 | | 平均 | |
|-------------------------|--|----|-----|-----|-----|----|-----|----|-----|
| | | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| 組織性の理解 保護者支援 保育理念 | 認定こども園教育・保育要領や法的根拠などについて日々学ぼうとしている。 | 75 | 25 | 69 | 31 | 81 | 19 | 75 | 25 |
| | 自分の働いているこども園の理念や目標を意識して保育している。 | 91 | 9 | 94 | 6 | 94 | 6 | 93 | 7 |
| | 養護と教育の一体性を意識しながら計画を立て、幼児教育・保育に取り組んでいる。 | 75 | 25 | 59 | 41 | 75 | 25 | 70 | 30 |
| | こども園以外の機関との連携を心掛けている。 | 38 | 63 | 34 | 66 | 41 | 59 | 38 | 63 |
| | 子どもの姿について、保護者と喜びを共有している。 | 84 | 16 | 91 | 9 | 88 | 13 | 88 | 13 |

| | | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|-------------|--|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|
| | | 困っているのは保護者自身であることを理解して支援している。 | 84 | 16 | 88 | 13 | 84 | 16 | 85 | 15 |
| | | 自分から職員や保護者に対して笑顔であいさつするように心がけている。 | 100 | 0 | 100 | 0 | 100 | 0 | 100 | 0 |
| | | 誰かがやらなくてはいけない大変な仕事を、進んで引き受けている。 | 78 | 22 | 78 | 22 | 84 | 16 | 80 | 20 |
| 子どもの発達援助 | 子どもの姿を捉えた準備 | 新しい保育の内容や方法などの情報を集め、取り入れている。 | 59 | 41 | 63 | 38 | 75 | 25 | 66 | 34 |
| | | 子どもの発達の特性や過程、連続性について学ぼうとしている。 | 84 | 16 | 88 | 13 | 88 | 13 | 86 | 14 |
| | | 子どもが安全、快適に過ごせる空間を整えている。 | 84 | 16 | 84 | 16 | 81 | 19 | 83 | 17 |
| | | 子どもの興味・関心に合わせて、環境構成を行っている。 | 78 | 22 | 72 | 28 | 75 | 25 | 75 | 25 |
| | | 一人ひとりの子どもの姿をイメージして教材などの準備をしている。 | 69 | 31 | 56 | 44 | 66 | 34 | 64 | 36 |
| | | 絵本などの児童文化財について、しっかりと準備をしている。 | 56 | 44 | 63 | 38 | 69 | 31 | 63 | 38 |
| | | 子どもの心情や意欲を考えて、遊びの共有や継続の工夫をしている。 | 75 | 25 | 66 | 34 | 66 | 34 | 69 | 31 |
| | | 日々の保育の中で、一人ひとりの育ちに合わせて、デザインマップやエマージェントを作成している。 | 59 | 41 | 56 | 44 | 59 | 41 | 58 | 42 |
| | 意識的な実践 | 日々、自分に課題を持って保育に取り組んでいる。 | 72 | 28 | 72 | 28 | 72 | 28 | 72 | 28 |
| | | 子どもの姿に合わせて、遊びが継続するようにデザインしている。 | 66 | 34 | 59 | 41 | 63 | 38 | 63 | 38 |
| | | 毎日、一人ひとりと挨拶を交わし、視診をしている。 | 84 | 16 | 81 | 19 | 84 | 16 | 83 | 17 |
| | | 子どもに対し、指示や命令、依頼の言葉よりも誘いかける言葉を多くしている。 | 88 | 13 | 91 | 9 | 91 | 9 | 90 | 10 |
| | | 一人ひとりの心の動きを考えながら、言動するように心がけている。 | 88 | 13 | 81 | 19 | 88 | 13 | 85 | 15 |
| | | 自然環境を感じられる工夫をしている。 | 72 | 28 | 63 | 38 | 69 | 31 | 68 | 32 |
| | | 基本的な生活習慣については、一人ひとりの育ちに留意して取り組んでいる。 | 81 | 19 | 72 | 28 | 75 | 25 | 76 | 24 |
| | | 遊びを通してどのような経験、育ちをして欲しいか考えている。 | 78 | 22 | 81 | 19 | 78 | 22 | 79 | 21 |
| | 客観的な振り返り | 一日の保育を振り返り、自分の言動を省察するように努めている。 | 69 | 31 | 63 | 38 | 78 | 22 | 70 | 30 |
| | | 保育のよかったところ、悪かったところを記録として残している。 | 38 | 63 | 44 | 56 | 47 | 53 | 43 | 57 |
| | | 他者が見ても理解しやすいように記録している。 | 53 | 47 | 59 | 41 | 53 | 47 | 55 | 45 |
| | | 子ども一人ひとりの生活・活動を振り返り、保育のねらいと照らし合わせている。 | 56 | 44 | 44 | 56 | 47 | 53 | 49 | 51 |
| | | 保育の中で気付いた自分自身の課題は、次の保育から改善するように努めている。 | 84 | 16 | 72 | 28 | 78 | 22 | 78 | 22 |
| 子どもの姿を振り返り、翌日の保育をデザインしている。 | | 50 | 50 | 53 | 47 | 56 | 44 | 53 | 47 | |
| 謙虚な気持ちで、他者からの保育に関する意見を聞くことができている。 | | 91 | 9 | 88 | 13 | 94 | 6 | 91 | 9 | |
| 尊敬の気持ちを持って、他者の保育に対する自分の思いを伝えている。 | | 88 | 13 | 81 | 19 | 88 | 13 | 85 | 15 | |

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

年二回の自己評価を通じて、職員一人ひとりが保育や業務を振り返り、見直す機会ができた。しかし、取組状況に関する回答は、残念ながら、年度末の振り返りで「いいえ」の回答が多くなっていった。

特に、「快適に過ごせる空間」「興味に合わせた環境構成」「自然環境を感じられる工夫」といった幼児教育は環境を通して学ぶ原則の部分で不十分な回答が出ていたので、次年度も環境に対する研究／研修を行う必要が感じられた。

また、保育の「振り返り」については、不十分な点が見られた。振り返りをして「活動のねらい」や「翌日の保育をデザインする」項目では、半数近くの職員が「いいえ」と回答し、振り返りがしっかりとできていない状況がうかがえた。「保育の振り返り」は、「保育の質」と密接な関係があり、今後、子ども中心、子ども主体の保育を展開していく上で、子ども理解と関わりについて客観的に振り返ることにより、保育を再構築していくことが求められる。

5. 今後取り組むべき課題

| 課題 | 具体的な取組み方法 |
|-------------------------|--|
| 保育理念 保護者支援 組織性の理解 | 保育理念・保護者支援・組織理解などは、全体として高い評価が出ているが、外部機関との連携、場合によっては地域との関わりの部分において、十分な理解と対応ができていないように思われる。しかしながら、コロナ感染症による緊急事態宣言発令など、外部機関との関係性が物理的に困難状況もうかがえるので、今後、地域との関わりを含め、職員間の理解を深めていく。 |
| 客観的な 振り返り | 環境構成の意味を考えると共に、環境を日々整えるために時間が必要と考える。 環境構成に関する研修を重ねて実際に遊びが継続発展的に展開する充実した保育環境を工夫していく。 また、ノーコンタクトタイムの活用方法として環境の見直しができるように、時間の有効利用や職員間のやりくりを考えていく。 |
| | 保育の質に直接つながる「振り返り」の時間の確保は、環境構成同様、ノーコンタクトタイムの活用によってより可能になると考える。しかし、子どもの姿を振り返り、遊びを予想する保育のデザインを行う際には、一人で考えるのではなく、複数の人間の考えを持ち寄って行う必要があり、チームで考える・振り返る習慣につなげていく。 |

6. 学校関係者の評価

【令和3年2月13日実施】

保護者代表者に職員同様、評価項目の取組状況について評価していただき、その結果をどのように感じられるかを聴取した。

およその回答は、自己評価チェックのシートで行っていた保育に関する方針について良好な回答をいただいていた。

日々の保育については、日々のドキュメンテーションを見ることで様子がわかる。いろいろな遊びがあるので、自分で考えて行動することが増えているように思う。遊びのドキュメンテーションやポートフォリオで

は、遊びの広がりや一人ひとりの成長がよくわかるが、内容も多いので少し読みにくかったり、わかりにくかったりすることがあるとのことでした。

また、どちらかと言えばそう思うと感じる回答が多く寄せられ、園としての課題も浮き彫りになったと感じられた。

全般として、子ども主体・子ども中心の考え方が保護者に浸透し始めたと感じられる場面が多くなってきた。入園時の説明の他、当園で行っている保育の方向性を保護者の方々にご理解いただきながら進められていることと思われるが、まだまだ説明が不十分で、当園の保育方針や保育者の意図が理解されていないところや誤解されているところもあると思われるので、情報発信を丁寧にしなが保育の質の充実を図っていきたい。